

将来の超知性ネットワーキングを実現する 技術に関する論文特集(和文論文誌B)論文募集

近年、機械学習などのAI(人工知能)を活用した通信技術の研究開発が活発化しており、将来はAIを活用した知的な通信技術・通信システムが広く利用されることが期待されます。加えて、これまでは無線/有線、上位レイヤ/下位レイヤ、などの個別の分野で知的な通信システムについて議論されておりましたが、今後は分野を横断した議論が望まれています。AIや機械学習、Bio-inspired、各種アルゴリズムなどの活用で実現される、将来のより知的で高度なネットワークシステム、およびネットワークサービスを超知性ネットワーキングと称し、2019年11月に超知性ネットワーキングに関する分野横断型研究会(RISING2019)が企画されております。本研究会での議論を深掘りし、分野間のさらなる連携を進めるため、「将来の超知性ネットワーキングを実現する技術に関する論文特集」と題して、最新の成果に関する和文論文を募集します。

本特集(2021年3月号)では、無線/有線、上位/下位レイヤ、ソフトウェア/ハードウェアを問いません。知的な通信システムの実現に向けた理論的・実験的研究に加え、企業で製品化されたシステムや、展示用のデモシステム、コンセプトシステム、及び大学・官公庁研究機関において行われたシステム開発なども対象と致します。分野間の連携拡大を目指し、RISING2019ではポスターで発表いただいた研究を発展させた論文・レター投稿はもとより、同研究会で発表されていない研究についても、多くの皆様からの積極的なご投稿をお待ちしています。

1. 対象分野:

- ・超知性ネットワーキングの実現を目指した研究
- ・AI・機械学習・ビッグデータ解析、Bio-inspired、各種アルゴリズムを利用した知的なネットワークに関する研究、もしくはこれらを活用するネットワーク基盤に関する研究
- ・超知性ネットワーキングに関するアプリケーションの実装・運用に関する研究

2. 論文の執筆と取扱い

- ・論文の執筆、査読の取り扱い是一般論文と同一とします。詳細は、投稿のしおりを御参照下さい。
http://www.ieice.org/jpn/shiori/cs_mokuji.html
- ・原則として、論文は刷り上がり8ページ、レターは同2ページを標準とします。
- ・特集発行のスケジュールにより、査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

3. 主なスケジュール

投稿締切: 2020年5月15日(金) 厳守
第1回判定通知: 2020年7月下旬を予定
最終判定通知: 2020年10月下旬を予定
発行月: 2021年3月号

(本特集号の論文は、採録決定後、掲載料をお支払いいただくと直ちに早期公開されます。詳細は、投稿のしおりを御参照下さい。)

4. 投稿方法

投稿は原則電子投稿とします。

https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx にアクセスし、投稿原稿に関するデータの登録と、投稿原稿PDFファイル(4MBまで)ならびに編集用電子ファイル(1ファイルにつき10MBまで)をアップロードし、Copyright Transfer and Page Charge Agreement の手続きをして下さい。なお、電子投稿が困難な場合は、学会事務局<wabun-b@ieice.org>に御連絡下さい。

5. 特集編集委員会

【委員長】藤井 威生(電気通信大)

【編集幹事】平 明德(三菱電機)、山本 寛(立命館大)

【編集委員】新井 イスマイル(奈良先端大)、鬼沢 武(日本電信電話)、菅原 真司(千葉工業大)、田久 修(信州大)、橋 拓至(福井大)、布目 敏郎(名工大)、廣田 悠介(情報通信研究機構)、山崎 浩輔(KDDI総合研究所)、山田 渉(日本電信電話)

6. 連絡先

山本 寛(立命館大)

TEL: 077-599-4377

E-mail: hiroyama@fc.ritsumei.ac.jp



電子情報通信学会

通信ソサイエティ

IEICE Communications Society